

登録コード	E4660900	開講年度	2026				
授業科目	中等保健体育科指導法基礎					担当教員	岩田 靖
英文授業名	Foundation of Teaching in Secondary Physical Education					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	
講義室	教育N 3 0 1 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	我が国における体育の基本的な考え方の変遷について学習指導要領の推移をもとに理解する。また、現在の体育の考え方について、その目標・内容（教育課程および学習内容）に関する基本的な考え方について知り、よい体育授業の構成方法について学習する。						
(5)授業計画	第1回： オリエンテーション 第2回：体育の考え方の3つの段階 第3回： 戦後体育の変遷① 昭和20年代から40年代 第4回：戦後体育の変遷② 昭和50年代から平成10年代 第5回： 戦後体育の変遷③ 平成20年の学習指導要領 第6回： 体育の目標論 第7回：体育の学習内容論 第8回： 中学校の教育課程（運動領域）の構成論 第9回：よい体育授業の基礎的条件① 体育授業における教師の四行動 第10回：よい体育授業の基礎的条件② 授業の勢いと授業の雰囲気を生み出す条件 第11回：よい体育授業の内容的条件① 教材づくりの基本的条件 第12回：よい体育授業の内容的条件② 運動領域の特質に応じた体育授業 第13回： よい体育授業の内容的条件③ 生徒の学習意欲を高める方法的工夫 第14回：授業評価と学習評価について 定期試験						
(6)成績評価の方法	定期試験によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	1）戦後の学校体育の変遷について理解している、2）体育の目標論・内容論について理解している、3）中学校の教育課程について理解している、4）よい体育授業の基礎的条件について理解している、5）よい体育授業の内容的条件について理解している。これらについてすべてよりよく理解できていれば「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目を満たしていれば「やや上にある」、2項目まで理解できていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	戦後の学校体育の変遷については以下の文献の熟読と整理を求める。 岩田靖（2004）学習指導要領の変遷、体育科教育別冊 また、中学校の教育課程、目標、指導内容については学習指導要領、およびその解説の熟読と整理をすること。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	M 3 0 9 （内線4151）						
【教科書】	岡出美則・友添秀則・岩田靖編著（2021）体育科教育学入門・三訂版（大修館書店）						
【参考文献】	文部科学省（2017）中学校学習指導要領 文部科学省（2017）中学校学習指導要領解説・保健体育編						